

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	古着・古布リサイクル事業	所管	環境クリーン部 廃棄物対策課
			TEL 2998-9146

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民が古着・古布を回収拠点に持ち込むことにより、ごみ減量と資源を再生利用する取り組みのきっかけ作りとし、資源に対する「もったいない」という意識をもとに、燃やせるごみの減量・資源化の推進を図る。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	139,595	世帯
		実際に 利用した数	124	t

活動の内容 (何を したか)	家庭で不用になった古着・古布を、市民が「再使用」と「資源」に分け、公民館などの43箇所(延べ95回開催)の回収拠点に持ち寄る。②再使用分は、地域の環境推進員の協力を得て実施される「もったいない市」(14箇所延べ28開催)で、再使用を希望する市民に配布する。③残った「再使用」・「資源」分は、東所沢エコステーションに運搬された後分別し、再使用及び資源化を図る。								
	活動実績	項目名	古着・古着の回収	124 ----- 単位 t	項目名	回収拠点数	95 ----- 単位 回	項目名	参加世帯数

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,395	2,055	4,967	14.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	古着・古着の回収量		200 ----- 単位 t	124 ----- 単位 t	62.0 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕			
		終了	⇒ 事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050400	TEL	2998-9146		
事業コード	古着・古布リサイクル事業							
050404								
開始年度		平成	9	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	関連・類似事業	陶磁器リサイクル推進事業、食食用油リサイクル事業(廃棄物対策課)			所沢市廃棄物の処理及び適正処理に関する条例				
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル	中柱	1.ごみ減量とリサイクルの推進	小柱	(2)リサイクルの推進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位			・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***				
事業開始の背景	廃棄物の排出を抑制し、資源が循環する仕組みづくりを目指し、資源物として有効利用可能な古着・古布について、公民館などを利用した拠点回収を実施した。								

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に) 市民が古着・古布を回収拠点に持ち込むことにより、ごみ減量と資源を再生利用する取り組みのきっかけ作りとし、資源に対する「もったいない」という意識をもとに、燃やせるごみの減量・資源化の推進を図る。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	市民					古着・古布回収量				
	対象数	単位	平成 18 年度	137,915	世帯	利用数	単位	平成 18 年度	134	t
			平成 19 年度	139,595	世帯			平成 19 年度	124	t
事業の具体的な内容及び実施方法 家庭で不用になった古着・古布を、市民が「再使用」と「資源」に分け、公民館などの43箇所(延べ95回開催)の回収拠点に持ち寄る。②再使用分は、地域の環境推進員の協力を得て実施される「もったいない市」(14箇所延べ28開催)で、再使用を希望する市民に配布する。③残った「再使用」・「資源」分は、東所沢エコステーションに運搬された後分別し、再使用及び資源化を図る。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点 古着・古布の回収拠点で実施される「もったいない市」の会場では、依然として古着販売業者やフリーマーケットの出店者などと思われる方が来場し、営利目的等で古着を持ち出す行為が見受けられるため、ポスター掲示をするだけでなく、古着を持ち帰る枚数を制限し、防止に努めた。									

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		2,246	2,395	2,843	
	決算 (見込み含む)		2,171	2,055		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)			
	正規職員人件費		0.37 人 3,404	0.31 人 2,912	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	公債費					
	事業費合計		5,575	4,967		
	財源内訳	一般財源		5,483	4,887	2,773
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他		92	80	70	
	市民一人当たり(単位:円)		16.5	14.6		
	利用者一単位あたり(単位:円)		41,604.5	40,057.6		

⑥指標	項目名	古着・古着の回収	計算方法	回収実績	単位	t	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	回収拠点数	延べ拠点数	延べ拠点数	回		134	124	141	
		参加世帯数	延べ世帯数	延べ世帯数	世帯		96	95	96	
							16,026	16,560	17,200	
	成果分析	古着・古着の回収量				t	目標値	200	200	200
					%	実績	134	124	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1
						達成率	67.0	62.0		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性	
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	明らかとなった課題	古着・古布の回収量がここ数年減少している。排出量が減少することは必ずしも悪いことではないが、回収量の増加とともに、事業へ参加していただける世帯を増やせるよう広報やホームページを活用し、PRしていくとともに、回収回数などについても検討していきたい。						
	今期目標項目(何を)	参加世帯数及び古着・古布回収量の増加	達成水準(どこまで)	広報や市のホームページを通して広く市民にPRを実施していく。	時期(いつまで)	平成20年度末		
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)							
評価理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了							
評価日	平成20年5月1日 記入者職氏名 廃棄物対策課主幹 二上 清次							

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	322		
	施策の体系	3-2資源循環の促進	施策の方向	3-2リユース・リサイクルの推進		
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…無し	計画コード			
	基本目標					
主要課題						
施策の方向						